

新春雑感

大川創業株式会社
代表取締役会長

大川 進一郎

明けましておめでとうございます。今年もご指名を拝受いたしました。私の拙文を読んで下さっている方がおられるという事に感謝です。ただ、「新春雑感」と言っても、10月末の締切なので、丸2ヶ月のニュースで米朝、米中、日露等の会談の結果を知りたいところだが、血生臭い話がトランプ大統領の周りがあるので、2ヶ月の空白の間の出来事が参考に来れないのが私にとっては辛いところです。

日露の安全保障条約は、日本側は北方領土問題を解決しないと無理だと言っているが、中国・韓国とは共に領土問題は島一つずつ残ってはいるが協定は結び友好関係は結ばれています。北方四島返せと唱えていても負け犬の遠吠え。再び戦争をして勝利しなければ領土問題は解決しない事は過去の歴史が物語っています。私は、領土は神からの借り物で、有効に活用させてもらっていると考えるのも良い。そういう意味からたとえ領土がロシア側にあってもビザなしで自由に日本から北方四島の先祖の墓参りに行ける。いや、漁港を借りるか所有でき、商売して税金はロシア国家に支払う。北海道より四島の方が有効活用できるとは思わないが、先祖が長年住んでいた土地、是非一生そこで暮らしたいならその様にすれば良い。ニューヨーク、ロンドン、メルボルンに土地を所有している日本人がいる。当社もバブル期にフランスのロアール地方にマドン城という古城を所有していたのですから。

北朝鮮の拉致被害者の解放だって「返せ」というより先に、家族が安否を気遣い、お互いに手紙を出し合う。交流が出来るようにするのが先だと思うのですが…。

昨年は戊戌の年。草冠を付ければ茂茂。二重に繁盛するので大発展、大繁盛、あまり行き過ぎると波乱万丈の年と書きませんが、米朝、米イラク、サウジアラビア関係は先送りされた恰好。トランプ大統領の過激発言が気になる程度。むしろ気象、天候の方は大当たり。過去にない猛暑、台風、地震で大きな被害を受けました。そこで思い出すのが、昭和41年、今から53年前、私が34歳の年。三洋電機冷蔵庫工場

に勤務して9年目、統計的品質管理で同じ品種なら安い材料、同じ値段ならより良い品質の材料を実験計画法に基づき選び、9年間で池田首相の唱える所得倍増になったにも関わらず、冷蔵庫の価格は3万円のままという計画に貢献し、一方入社2年目に日本初の2ドア冷蔵庫、段ボール梱包で業界初。扉に絵を書くアートドアの商品化に貢献し、工場長から「大川、3～4年アメリカで遊んで来い。レポートは出さないで良い。」サンヨー冷蔵庫を一番先に買うのは日立の技術者だと言わしめた絶頂期に、突然「アメリカ行きの話は中止や。実はおれ、鳥取サンヨーの常務に栄転する。ついては君に是非付いて来てほしい」と言われ、その送別会の席上、部下から「大川さんは全く運の良い人や。最近発行された米国の雑誌によると、電気冷蔵庫に使用されている冷媒フロンガスは、地球を覆って太陽の直射から守ってくれているオゾン層を破壊し、レンコンのように穴を開ける。すると太陽の熱と共に有害な紫外線が地球に放射されるので、地球は温暖化、エルニーニョ現象等の気象の変動を起こし、地球を滅亡させる。冷蔵庫工場は大変なことになる」と45年前に教えてくれた言葉が今現実的にそうになっている。その後、デュポン社はフロンを製造中止、現在は各社が垂れ流しを止め、回収を義務付けられているが、フロンと名前を変えただけでお茶を濁しています。フロン回収だけでなく抜本的な代替冷媒にしない限り、地球温暖化は減少しても完全に解決したことになると思います。それにしても、村野 藤吾という有名な建築家は、昭和9年に大阪の堺筋本町にある綿業会館の一階応接間に霧を噴霧してその気化熱を利用して空調を回ったとあります。今から85年前にそんな事を考えた人が居たのですね。

戊戌は波乱万丈の年、元阪大教授のT先生から電話がかかってきて「どうやら南海トラフ地震は間近に迫っている」「そりゃ間違っています、南海トラフは来年亥年です」と答えて2、3日して大阪北部地震で我が家は震度5弱の大揺れでした。しまった、先生の勝ちかと思ってテレビを点けたら、茨木市以

北の大阪北部は最大震度6弱で大きな被害が出ましたが、それ以外の地域は比較的軽症でホッとしました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

24年前の「亥」年の年に阪神淡路大震災が起きました。経済界のお偉方は「イノシシの年、猪突猛進で大いに前進しよう！」などと言っているが、何を言っている?! イノシシは地下で男女がモゾモゾ動いている事象です。こりゃ地震だ。と直感し、年頭挨拶で大震災を予告し大いに評価されました。従って、亥年の今年こそ南海トラフに注意すべき年です。

以前にも書いた様に、日本には十干十二支の暦があり、十干の干は木の「幹」の意味、十二支の支には幹の「枝」の意味があります。これを組み合わせると60通りでき、60年に一度巡ってくるのです。十干十二支はそれぞれ陰陽五行説（木・火・土・金・水）から成り、十干の五行は、木（甲・乙）、火（丙・丁）、土（戊・己）、金（庚・辛）、水（壬・癸）となります。また、十二支の五行は、木（寅・卯）、火（巳・午）、土（丑・辰・未・戌）、金（申・酉）、水（子・亥）になります。次に十二支の意味ですが、株式の世界では、子は繁盛、丑は躓く、寅は千里を走る、卯は跳ねる、辰・巳は天井、馬は尻下がり、未は辛抱、申・酉は騒ぐ、戌は笑う、亥は固まるとあります。前置きが長くなりましたが、「己亥（きがい・つちのとい）」の年の己は、安岡正篤氏の「干支の活学」によると、とかくひん曲がり悪方よりになるという。己の正しい読みは紀州のキであるが、慣用されているのはコです。古代文字は三本の横線と二本の縦線との合字になっており、物が形を曲げて縮まり隠れた家で外物に対して内なる自身即ち「おのれ」を表します。古代文字の横線は糸を表し縦線は糸を絶つ。糸筋を分けることで乱れを正し、おさめる意味、即ち紀である。己は他に対して屈曲し、悪方になり、乱れ易いからこの筋を通して規律していくべき事を表しています。前年の戌は茂で紛糾と衰退を意味するので、よろしく剪定賦活しなければならない。己はその後を受けて筋道をはっきり通す事です。これに反して悪がたまると敗を招く事は必定です。「己に克って礼に復るのが仁である」（論語顔淵）「己を正して人に求めなければ怨はない」（中庸）。世の指導者、特に為政者はこの己年の己の一字に蒙を啓かねばなりません。亥は核に

も通じます。起爆性エネルギーです。米朝会談の結果が重要です。己を正さないと人類は滅亡する。

安岡正篤氏が生前「関西師友協会」を創設され、世の指導者を教育されたが、その師友協会は「平成三十一年の干支に思う」と題して、「一念発起し核心革正の年」と言われている。「己亥の年は混乱・紛糾している物事に対し、一念発起、筋道を正し、乱れを治め、整えていく事が求められ、併せて万事万物が内蔵しています。核心のエネルギーを革新に向かって如何に発揮していくかが問われる年であると言えます。

消費税率が10%に引き上げられ、沖縄普天間基地の移転問題にもよく注目して下さい。

我々は清く明るく正直な日本人魂、大和の誠心に則り、臨機応変、道義の原理原則に従い、人格の向上を図り、萬世の為に太平を開いていかねばなりません。

今年は大皇ご譲位により元号が変わります。平成の過ちがないように願いたいものです。

「己亥」の語意の中に、己は紀元、「はじめ」の意味があり、亥も核心、革新つまり「あらたまる」の意を含むので、今年の手初めは「意識改革 夢かなう」と書きました。よく注意して足元を固めましょう。

私は昨年まで大吉で、①となりの人間国宝さんに認定される、②史上初二度目の甲子園春夏連覇を達成した大阪桐蔭校歌作曲者、③大東市庁舎を当ポップタウン隣接地に移転の案が採用された、④孫の杏葉が「ジゼル」のプリマドンナに大抜擢される、⑤前立腺癌のPSA値が18.0から0.02に激減、⑥阪大オペラシリーズ「こうもり」が大当たり、コンベンションホールに2日間で延べ1,030名が来場された、⑦両膝痛の治療バイタル・リアクト・セラピー療法に出会う等最良の年であったが、今年から3年間、特に1月と11月、12月は気を付けて無理をせず、晴耕雨読に過ごします。

（電気 昭和32年卒）

